

総合計画の見直しや

江川地区 利根運河流域 自然環境保全など取組み状況を報告

平成19年第4回定例市議会で、根本市長は、総合計画の見直しや江川地区・利根運河流域の自然環境保全、梅郷駅周辺の整備、浸水対策など進捗状況を報告しました。本号では、その概要をお知らせします。

本年度の事業方針として申し上げます。10の政策の柱の進捗状況を申し上げます。

合併事業の進捗状況

◆まめバス

10月1日より新北ルート、新南ルートの運行を開始し、6ルートを運行しています。



記念式典には市外からも多くの人々が参加

また、9月3日に利用者が10万人を達成したこと、同30日に利用者100万人達成記念式典を開催しました。

都市基盤・駅周辺整備

◆土地区画整理事業

野田市駅西地区は、見直しを求め提案書の提出者から、下町区の理事、自治会長、地権者などに説明して欲しい旨の要請があり、10月23日に事業の必要性・経緯や計画の概要などを改めて説明しました。補助金は、県との協議で、最小限の範囲に減額してでも、補助事業を継続して実施したほうが良いとの指導をいただき、今年度から予定していた公共施設充当地地の買収は一時中断し、県と調整した補助事業費で、主要地方道野田牛

久線に埋設の送水管移設の実施設計を行うことに変更しました。

設計は、連続立体交差事業と一体的に整備する都市計画道路として、野田牛久線の直線化にも必要な作業です。

公共施設充当地取得関連の予算減額と送水管実施設計の予算増額は、補正予算を計上しています。

なお、県は年内の連続立体交差事業の認可取得に向け、手続きを進めていると聞いています。

◆駅周辺の整備

梅郷駅は、西口北側階段と昇降口付近の歩行者専用道路を、12月10日から供用開始しました。

また、梅郷駅西口の駅前広場と区画整理地内の梅郷西駅前線は、年度内に供用開始ができるよう事業を進めています。

なお、梅郷西駅前線は、20年度当初に一部開通する見込みです。

梅郷駅東口駅前広場と駅前線は、20年度前半の供用開始を目指して工事を進め、駅前線と宮崎山崎線も、用地交渉の状況により、暫定

的に供用開始することも考えています。

また、東口の自転車等駐車場整備も、用地取得ができ、交番用地の取得も進めています。

清水公園駅前線は、予定どおり20年度当初に清水郵便局交差点から西側を開通予定です。

◆浸水対策

六丁四反排水路工事は、18年度から国土交通省と共同して進めています。国土交通省施工のポンプなどの排水設備や発電設備、排水施設用建物は、年内に完成すると聞いています。

管理区分は、市は運転操作費用や定期的な保守点検、周囲のフェンス修繕などの小規模改修を、国土交通省はポンプの故障や老朽化など大規模修繕を負担します。

また、水路下流の閑宿高校前も今年度から改修工事を実施しますが、ポンプの排水状況により、水路全体の整備計画を検討したいと

考えています。

福祉施策の充実

◆第2の福祉ゾーン

重症心身障害児施設整備は、8月に社会福祉法人晴山会に意思の確認を行いました。

回答は、障害者自立支援法の施行に伴う制度の改正などにより、現在東京都に建設中の施設の運営状況を見極めた上でなければ判断を下すことが困難とするものでした。

しかし、晴山会の回答は整備計画に支障を来すことを伝え、新たな事業主体との調整・交渉などの活動を進めていくことなど、選



梅郷駅西口北側階段も完成しより便利に